

クラス番号	341	担当教員名	伊藤 大介
		他専修学生受入上限人数	3名
テーマ	科学的根拠に基づくコミュニティソーシャルワーク		

ゼミナール概要

キーワード

高齢者福祉、個別支援、地域支援、社会福祉士、中核人材

目 的

目の前にいるひとりの「人」を支える力とその人が暮らす地域などの「環境」に働きかける力を持ち合わせたソーシャルワーカーを目指します。将来的に、組織や地域の中核を担う人材になるための土台を作ります。

考え方

その1：ソーシャルワーカーには、今まさに困っている個人の安心や生きがいを支える力が不可欠です。ただし、個人の暮らしは、家庭、地域、社会などその人を取り巻く環境との相互作用で形作られます。そのため、個人と環境の両方を視野に入れて実践する力が求められます。

その2：「支援に正解はない」と言われることもあります。ある状況においての「最適解」は存在するはず。最適解は、既存の知見から導き出す「より良い結果になる確率が最も高い支援」だと考えます。最適解にたどり着くため、ソーシャルワーカーには科学を扱う力（少なくとも研究結果を読み解き、支援に応用する力）が求められます。

授業計画

3年次前半：卒業論文執筆に必要な「読む」・「書く」力を高めます。夏休みには、1泊2日のゼミ合宿を長野県で行い（予定）、地域おこしやインタビュー調査について学びます。

3年次後半：文献レビューレポートと研究計画の作成が主です。3年次の春休み～4年次前期の前半を目途に卒業論文のための調査を行えるよう準備します。

4年次：秋までに卒業論文を完成させます。完成後は、国家試験対策または進路に応じた学習に取り組めます。

担当教員からのメッセージ

自己紹介：地域包括支援センターや市町村社会福祉協議会などでソーシャルワーカーをしていました。管理職として、現場のマネジメントや職員採用に携わっていた時期もあります。資格は、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員を持っています。研究は、量的研究（統計的手法を用いた分析など）を中心に行っていましたが、質的研究の経験もあります。

エントリーシート：①現時点の希望進路と希望理由、②自分の好きなものと好きな理由について、できるだけ詳しく書いてください。

ゼミについて：社会福祉士の取得を目指し、福祉分野に就職を希望する学生に適しています。教員の専門は高齢者福祉ですが、高齢者福祉に関する知識の伝達よりも、論理的思考力の向上を重視した内容です。上記の「考え方」が合えば、高齢者福祉以外に関心のある学生でも問題なく学べます。